

福岡商工会議所理財部会主催

「金融情勢の変化で市場は一変。2019年はどうなる？」 ～ 金融情勢の変化、消費増税、五輪後を見据えて ～

異次元の金融緩和と比類なき超低金利に加えて、相続税の強化など不動産市場には次々とカンフル剤が投与され、福岡の不動産市場は5年間に亘り大活況を呈してきました。

しかし、超低金利による市場の下支え状態は続いているものの、昨春以降の金融機関の融資姿勢の変化によって、市況は緩やかに減速しています。既に、東京圏の不動産価格はピークアウトしており、価格調整と完成在庫の値引き処分も本格化してきました。

このたび当所では、不動産市況に関する的確な予測と助言で全国に多くの支持者を擁する不動産市況アナリストの幸田昌則先生を講師にお招きし、全体的には「バブルの終わり」が始まっているだろう中における最新の市場の実態をデータを基に解説いただくとともに、今後の市況動向の予測と対応策についてご講話いただきます。



◇ 開催日時：2018年11月21日（水）15:00～16:30

◇ 講師：ネットワーク88 代表

不動産市況アナリスト 幸田昌則氏

◇ 会場：福岡商工会議所 403 会議室（福岡市博多区博多駅前 2-9-28）

◇ 定員：100名（定員になり次第締切）

【講師略歴】

福岡県出身。九州大学法学部卒。リクルートが発行の「住宅情報」誌の創刊責任者を三大都市圏で歴任。不動産市況アナリストとして、90年バブル崩壊以前の1989年11月に発表した「関西圏から不動産価格が大幅に下落する」は不動産業界に波紋を呼び、予測の正確さが実証されて以来、長年にわたって不動産市況について発信を続けている。また、近年では、高齢化社会の進行、人口減少、更に、ネット社会の到来が、日本の不動産市場に構造的な変化を与えていると指摘している。

的確な市況分析と助言とで、全国に多くの支持者を擁するマーケット分析の第一人者。現在は、ネットワーク88を主宰。不動産業の経営、事業・営業戦略のアドバイス、幹部研修などでも活躍している。また、土地資産家や企業経営者を対象とした講演では、データを基に、具体例を交えた分かり易い解説に定評がある。

【主な著書】

「不動産で豊かになる10年先の読み方」（日本経済新聞出版社）	「不動産価格はまだ下がる」（日本経済新聞社）
「失敗に学ぶ 不動産の鉄則」（日本経済新聞出版社）	「不動産ビジネス 価格破壊の時代」（日本経済新聞社）
「下がり続ける時代の 不動産の鉄則」（日本経済新聞社）	「不動産ビジネスがまるごとわかる本」（東洋経済新報社）
「不動産 新しい考え方と利益の出し方」（中経出版）	「東日本大震災後の不動産の鉄則」（日本経済新聞出版社）
「不動産 これから10年のトレンド」（日本経済新聞社）	リクルート・江副浩正から学んだ「成長の経営哲学」（週刊住宅新聞社）

お申し込み・お問い合わせ先：福岡商工会議所 経理・財務グループ TEL 092-441-1115
※参加ご希望の方は、下記「参加申込書」にご記載のうえFAXにてお申し込み下さい。

【「理財部会講演会」参加申込書 兼 参加票】 FAX 092-474-3200

◎ 誠に恐れ入りますが、当日は「お名刺」か「本参加票」を受付にご持参下さい。

貴社名 _____

電話 _____

参加
無料

住所 _____

参加者名	① _____	② _____	③ _____
役職	_____	_____	_____

ご記入いただいた情報は、当講演会の実施運営のために利用するほか、今後当所からの各種連絡、情報提供のために利用させていただきます。